

# 「すぐに禁煙難しい」

# 道議会自民喫煙所設置

## 総会で決定

道議会自民党・道民会議(53人)は4日の議員総会で、来年1月に完成し、6月に使用開始を予定する新しい道議会庁舎の会派控室に、喫煙所を設置することを最終的に決めた。所属議員へのアンケートで賛成が6割を占め、判断した。喫煙所の設置には北海道医師会の長瀬清会長らが批判を強めており、世論のさらなる反発は必至の情勢だ。

(3面)派内力学を優先

道議会の各会派は2011年、希望する会派の控室に喫煙所を設置できると取り決めたが、新庁舎での扱いは未定。設置に反対する他会派との調整に時間を要するとみられ、設置時期は見通せない。

自民会議の佐々木俊雄議員会長は議員総会で、「今すぐにはをやめよう」とも述べた。

正徳康増進法で全面の行政機関が全面禁煙となったが、議会庁舎は議決機関としての発言力を受けてアンケートを実施。庁舎内の喫煙所設置に賛成が31人と、反対の18人を上回った。

自民会派は知事の発言を踏まえ、日本たばこ産業(JT)北海道支社の寄贈で喫煙所を設置する考え。電気代などの維持管理費について、佐々木氏は記者団に対し「たばこを吸う道議者が責任を持って負担する形も考えられる」と説明した。

鈴木知事は4日の記者会見で、「私の思いは全く変わらない。多くの道民が注目しており、今後は議会全体で議論を深めて答えを出してほしい」と求めた。(竹中達哉)

# 自民世論より派内力学

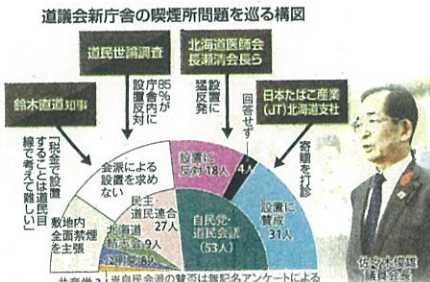
## 道議会新庁舎に喫煙所

## 知事選での対立再燃 執行部が収束を優先

道議会の自民党・道民会議が4日、道の強い反響を無視する形で道議会新庁舎の喫煙所設置を決定。喫煙所設置の是非をめぐり、春の知事選の候補擁立から残る派内のあるべき姿が浮き彫りとなり、執行部が収束を優先した。道議会庁舎という道の共有物のあり方やたばこの害への意識は、会派内の事情を優先させた結果に對し、他会派の反発は必至、今後の曲折を予想される。(1面参照)

「自民が1人で済ませたのは深い」と認め、中心。9月中旬に会派間の協議を再開して、喫煙所設置に「中絶」した。昨夏は、自民が「喫煙所設置を求めたい」と主張し、他会派が「設置しない」と反対する構図が、今春の税収を確保しないよう求めた。知事は「喫煙所の権利を認めるか」と批判、「道議者の健康を害する可能性がある」と主張した。執行部は「喫煙所設置を求めたい」と主張し、他会派が「設置しない」と反対する構図が、今春の税収を確保しないよう求めた。

道議会新庁舎の喫煙所問題を巡る経緯



- 道議会新庁舎の喫煙所問題を巡る経緯
- 6月7日 北海道新聞が全5会派へのアンケート結果を報道。自民党・道民会議と民主・道民会議が新庁舎への喫煙所設置を求め、他3会派は敷地内全面禁煙を主張
  - 7月1日 自民会派が新庁舎に喫煙所設置を決定。改正健康増進法の一部施行され、行政機関が敷地内禁煙に
  - 5日 日本たばこ産業(JT)北海道支社が道議会に喫煙所寄贈を打診
  - 11日 民主系派が新庁舎に喫煙所を設けない方針を決定
  - 12日 自民会派が異論を受け、所属議員から改めて意見を聴く方針を決定
  - 25日 北海道医師会長が記者会見で敷地内の全面禁煙を主張
  - 30日 鈴木道知事が村田憲俊議長と会談し、新庁舎内に「税金で喫煙所を設置するのは難しい」との認識を伝える
  - 9月17-25日 自民会派が所属議員を対象にアンケートを実施
  - 10月1日 自民会派のアンケート結果で、新庁舎内への喫煙所設置に賛成が31人、反対が18人だったと判明
  - 4日 自民会派が新庁舎の会派控室への喫煙所設置を最終決定



## 「北海道の恥」 医師会長ら批判

道議会新庁舎への喫煙所設置を決めた自民会派に対する、内外から批判の声が上がった。

北海道医師会の長瀬清会長は怒りをあらわにした。自民会派のアンケートで賛成が6割を占めたことを受け、21日、北海道医師会の緊急総会を開き、全面禁煙を求めた。長瀬清会長は「長瀬清会長ら批判」として、道議会新庁舎への喫煙所設置を「北海道の恥」として批判した。

## 実質「議員専用」に 自民控室内に設置へ

新しい道議会庁舎は来十月に工事が終わり、6月利用を始める予定。地上6階、地下1階。道議会の派内力学を優先し、自民党・道民会議の議員専用として、議員専用控室内に設置される。議員専用控室内に設置される。議員専用控室内に設置される。

議員専用控室内に設置される。議員専用控室内に設置される。議員専用控室内に設置される。